

## 第1回東庄町地域公共交通会議 議事概要

### 開催結果

#### 1. 開催概要

■日時：令和4年6月21日（火）13:30～15:30

■場所：東庄町役場 会議室2

■出席者：

##### 【委員】

・東庄町 町長		岩田 利雄（会長）
・有限会社東城観光自動車	統括運行管理者	鎌形 寿一
・有限会社東庄タクシー	代表取締役社長	宮崎 玲子（代理）
・株式会社相互自動車	代表取締役社長	篠塚 清（欠席）
・千葉交通労働組合	書記長	伊藤 賢（欠席）
・千葉県バス協会	専務理事	成田 斉（欠席）
・千葉県タクシー協会	北総支部 支部長	加瀬 満（代理）
・東庄町議会	議長	宮澤 健
・東庄町区長会	会長	藤原 和弘
・東庄町民生委員・児童委員	副会長	宮内 康雄（代理）
・千葉運輸支局	主席運輸企画専門官	平田 伸一
・東庄町社会福祉協議会	事務局長	河津 静夫
・東庄町シニアクラブ連絡協議会	会長	鈴木 正昭
・東庄町身体障害者福社会	会長	加瀬 三男
・香取障害者支援センター	所長	辻内 沙由里
・香取土木事務所	所長	横田 彰洋
・香取警察署	交通課長	大川 貢弘
・千葉県総合企画部交通計画課	企画調整班長	青木 隆明（代理）
・教育委員会	教育長	石橋 宏克
・健康福祉課	課長	布施 光規
・まちづくり課	課長	鈴木 秀樹
・総務課	課長	堀江 弘之

## ■会議次第

1. 開会
2. 町長あいさつ
3. 東庄町地域公共交通会議設置について
4. 委員紹介
5. 議事
  - (1) 副会長の選任について
  - (2) 東庄町地域公共交通のあり方について
  - (3) 実証実験と今後のスケジュールについて
6. その他
7. 閉会

## 2. 議事概要

### (1) 副会長の選任について

- ・会 長：先程事務局より説明があったが、「副会長は委員のうちから会長が指名する」となっているため、副会長は東庄町議会議長の宮澤健委員にお願いしたい。皆さんいかがか。
- ・委 員：(異議なし)

### (2) 東庄町地域公共交通のあり方について

(資料に基づき事務局より説明)

- ・会 長：バス事業者から運行経費を聞いたことがあったが、かなり高額であった。小見川町、銚子市、旭市でバスを運行させるには1千400万円の経費が必要であるため、町単独でバスを運行する方法しかない。現時点であまりにも利用人数が少ないため、バス事業者から辞めたいとの声を頂いたことがある。現在スクールバスを導入しており、空いている時間で町内を循環させているが、現状の利便性も含めて皆さんの意見を頂きたい。ご自身の考え方で構わないため、忌憚のないご意見をお願いしたい。
- ・委 員：自家用有償運送について、介護事業者が障害者に対して行うサービスだと認識しているが、東庄町でも同様に行うのか。
- ・事務局：交通空白地域の有償運送と、福祉有償運送の2種類あるため、両方を東庄町で行うことは可能である。
- ・委 員：おでかけ号利用者の利用目的はなにか。
- ・事務局：病院への利用が最も多い。小見川総合病院ルートについては、通院のついでにタイヨーでの買い物を済ませる方が最近では増加している。コロナ流行前は、旭中央病院ルートを利用して旭中央病院まで行き、乗り換えをしてからサンモール方面へ遊びに行く方々がいた。
- ・委 員：新たな交通サービスは、高齢者の外出支援につながるようにして欲しい。商業施設がないエリアの住民が買い物に困らないようにして欲しい。もしくは、出張店舗なども有効ではないか。ぜひご検討をお願いしたい。

- ・委員：商工会としてもいろいろな意見をまとめてもらい、個人商店にもお客さんが来られるように検討してもよいのではないか。
- ・会長：山梨での買い物はドローン活用の事例もあるため、そのあたりも含めて検討が必要だと感じる。  
モノが移動することも重要だが、ヒトが移動することが大切であるとも考えている。
- ・事務局：時代とともに変化してきたと感じる。目的地までの移動時間や、ルートによっておでかけ号での移動が困難になってきた方々に応えるため、乗合タクシーを導入したいと考えている。また、交通空白地域では、おでかけ号では補えない自家用有償旅客運送も併せて検討したい。どちらも実施するには事業者との調整が必要である。陸運局への届け出等も必要となるため、本会議でデマンドタクシーや自家用有償運送を、東庄町の新しい公共交通として導入するかどうかを決めて頂きたい。
- ・委員：自家用有償運送について補足をお願いしたい。デマンド交通と自家用有償運送の違いを教えて欲しい。
- ・委員：簡単にまとめると、利用者が異なる。福祉有償運送であれば、福祉に限定された方のみが利用できる。
- ・委員：財政負担が増加しているとのことだが、今後、どのくらい増加していくのか。
- ・事務局：車を購入した頃は1200万ほどであったが、年々100万円ほど増加している。人件費も高騰しているため、今後も増加し続けると考えられる。
- ・委員：新しい交通サービスに生まれ変わるのはいつ頃になるのか。  
また、おでかけ号の貨客混載も検討できないか。
- ・事務局：おでかけ号については、今年度の運行は確定している。  
この後の議題となるが、新しい交通サービスについては、実証実験という形で進めたいと考えている。期間中におでかけ号の利用者数が極端に減少した場合は、減便を検討して頂きたいと考えている。
- ・委員：資料1の5ページにメリット・デメリットが整理されている中で「事業者が参入しやすい」との記載があるが、東庄町がある道路運送法のタクシー営業区域が、昨年10月から新規参入ができるような地域ではなくなっている。「事業者が参入しやすい」という意味はどのようなものか。

- ・事務局 : 「介護タクシー事業者でも参入しやすい」という意味である。
- ・委員 : 一般タクシーが参入しやすいと誤解を招く方もいるため、介護タクシー事業者であることを皆さんにお示し頂ければと思う。
- ・事務局 : 東庄町には東庄タクシーと相互タクシーが乗り入れている。事業者が参入しやすいというより、介護タクシーがタクシー券で利用できるということである。  
 今後は、既存の取組みを見直しながら、新しい公共交通を導入することについての審議をお願いしたい。
- ・会長 : 新しい公共交通の形として、皆様から頂いたご意見を基に進めていきたい。
- ・委員 : 新しい公共交通の実証実験は、デマンド交通と自家用有償運送ともに実施をするのか。
- ・事務局 : その予定である。おでかけ号、デマンドタクシー、自家用有償運送の3種類を実証実験中に実施できたらと考えている。
- ・委員 : 新たに予約が必要になるため、利用が難しくなることが想定される。この点に留意してほしい。  
 また、おでかけ号は無料だったが、デマンド交通の運賃をどのように考えているか。
- ・事務局 : 現段階で運賃は決まっていない。おでかけ号は無料であるが、経済負担もあるため、いつまで無料で運行できるかは分からない。今後の運賃については、本会議で設定をお願いしたい。
- ・委員 : 実証実験を実施するエリアを教えて欲しい。
- ・事務局 : 町内全域を予定している。
- ・会長 : 事務局よりお話があった「デマンドタクシーおよび自家用有償運送」の導入について、ご承認頂けるか。
- ・委員 : (異議なし)
- ・会長 : 今後、検討を進めながら方針を定めていきたいと思う。  
 時代とともに公共交通機関のあり方が変化していることをご理解いただきたい。

### (3) 実証実験と今後のスケジュールについて

(事務局より説明)

- ・岩田会長：今後のスケジュールについてご意見はあるか。

(意見なし)

- ・会長：今回が初めての公共交通会議で、発言しづらい状況だったかと思うが、貴重なご意見ありがとうございました。

<その他>

- ・事務局：次回の会議は、7月12日(火)午後1時30分から予定している。実証実験に関する調査票の回答は7月8日(金)までに郵送やFAX、メールにて提出をお願いしたい。内容を事務局でまとめ、次回の会議にて共有したい。  
後日、7月12日に予定されている会議の出席確認表をお送りするため、返答をお願いしたい。また、調査票のデータが欲しい方はご連絡いただければ送りたいと思う。調査票の内容についても不明点等があればご連絡頂きたい。  
これをもちまして、第1回東庄町地域公共交通会議を閉会する。ありがとうございました。

以上